

1. 授業の基本情報・概要

(1) 授業の目的

「ゆとり教育」とのラベリングのためか、「総合的な学習の時間」「総合的学習」に関する研究は、近年、停滞している。そのような現状の中で、安易な批判的言説に迎合するのではなく、当該領域の趣旨を生かした指導ができるようになることを目的とする。

(2) 教育学部のディプロマ・ポリシー

教育活動に取り組むための十分な技能を身につけている。(技能)

(3) 愛媛大学学生として期待される能力(愛大学生コンピテンシー)に関わる項目

習得した知識や技能を基に自分の考えを組み立て、適切に表現(記述・口述)できる
科学的根拠に基づき判断し、解決策を提示できる

目的達成のために多様な人と協働できる
社会的関係の中で自分の行動を調整できる

地域の課題を、地球規模で考え、解決に向けて貢献できる

(4) 授業概要

履修登録者 17 人、単位修得者 14 人で合った。2月20, 21, 23日(火, 水, 金)に集中して実施した。

第01講「総合」とは(鴛原)

第02講教育課程の視点から(鴛原)

第03講理数教育の視点から①(吉村先生)

第04講理数教育の視点から②(吉村先生)

第05講特別支援学校での総合(渡邊副校長)

第06講高等学校での総合(八木主幹教諭)

第07講中学校での総合(丸山教諭)

第08講小学校での総合(河口教諭)

第09講小学校での生活科(大塚教諭)

第10講幼稚園での遊び学び(川崎副園長)

第11講大学教育の視点から①(壽先生)

第12講大学教育の視点から②(壽先生)

第13講総合の教材研究(鴛原)

第14講教材研究と授業開発(鴛原)

第15講リフレクション(鴛原)

2. 授業評価・授業研究の内容

講義の満足度についてアンケートを実施した。4回生を除く12人から回答があった。

大変満足できるものであった。7人

①鴛原先生のお話にあったオレンジジュースの謎は、社会科の内容に精通しており、国際理解、日本と世界の気候の学習にもつながっていた。さらに、理科や家庭科とのつながりもあり、総合的な学習が教科をまたいで発展的な内容を学習する分野であることが分かった。吉村先生は、理数教育の視点から総合を見つめた。総合的学習が生まれた歴史から詳しく教えていただいて、国が目指す真の総合的な学習を知ることができた。生きた資料を使って、教師としても思考し続けることの大切さを学んだ。附属の先生方は、総合的学習への共通認識があるので、終着点は同じだったけれど、様々な授業の切り口があって、発達段階に応じて授業内容が工夫されているということが分かった。寿先生のお話からは、日本の社会問題と子どもたちの教育へのつながりを考えさせられた。直接的に教育で社会問題を解決することは難しいけれど、教育が社会に与える影響はとても大きいと感じた。最後に松下先生からは、「人との出会い」「与えられたチャンス」という言葉をキーワードに、自分の人生の中では感じたことのない衝撃をたくさん与えられた。以上のように、たくさん先生からお話をいただけたことをとても嬉しく思う。

②3日間の講義の中に、実際に現場で働く先生方から直接総合的な学習の時間の取り組みについて指導要領をもとにした具体的な内容を教わり、自分が今まで受けてきた総合的な学習を振り返り、目的を再認識することができた。幼少中高、特別支援の総合的な学習の時間の取り組みを詳しく知り、今まであいま

いに考えていた領域を定義づけしながら今後自分がどのような授業を考案すべきか具体例を聞きながら学ぶことができた。また3日目には、自分のこれからの生き方について考えさせられ、大学生活折り返しの時点にいる自分の生活を見直し、内容の濃い有意義な2年間にしたいと強く思った。

③特別支援学校・高校・中学校・小学校・小中学校の生活・幼稚園の先生方に来ていただき、直接お話を聞くことができて本当によかった。それぞれの学校の先生方がどのようなことを意識して総合の授業を行っておられるのか、ということを知ることができた。どの科目の授業でも同じではあるが、総合という授業は特に継続的な学びが重要になってくると感じている。今回は全ての学校種の先生に講義をしていただくことによって、学校教育における総合の学びの流れを理解することができた。また、現場の先生だけでなく、鴛原先生、吉村先生、壽先生とたくさんの先生方のお話を聞くことで、社会の事象について様々な視点で見て考えることができた。今までとは違う角度で物事を見ることによって、新しい発見があった。

④さまざまな立場にある先生方のお話を聞くことで、あらゆる面から「総合的学習」を見ることができ、総合的な学習の時間で具体的にどのようなことをしたらよいか分かったから。総合的学習の楽しさを知ることができたから。

⑤様々な学習段階における総合的な学習に関する指導についてお話を聞くことができた。特に幼稚園に関しては、お話を聞ける機会があまりないので小学校教員を目指すにあたって幼小における学習のつながりについて考えながらお話を聞くことができた。実際に教員になった時に子どもたちと共に学ぶ総合的な学習の時間にできるようにしたいという意欲が湧いた。

⑥多くの講師の先生に講義に来ていただき、総合的な学習の現在の状況や我々が教員になった際にしなければならないことが知れたから。

⑦様々な先生に教えていただき、普段自分で勉強しているだけでは得られない知識や考え方を養うことができた。また、学校教育現場で実際に働いているかたの話が聞けて、理想論だけでなく現実の取り組みが知れて、大変

勉強になった。

どちらかといえば、満足できるものであった。5人

①こんなにも多くの先生が来てくださって、90分ずつしっかりとお話をいただける機会なんてなかなかないことだと思います。また、少人数の授業だったので、先生おひとりおひとりと目が合うような感じで、とてもパワーを感じることができました。今までにわかだった総合への知識を得ることができました。

②さまざまな先生方から教えていただき、いろんな視点から総合的な学習と言うのを学ぶことが出来た。また、それぞれの時間しっかり自ら考えることが出来た。受講している学生が少ないのが残念であった。もっと、他の学生の考えを聞きたかった。

③総合的な学習の時間を学習するにあたって私の中で大切だと考える「周りとの意見の共有」について積極的に行われたため。また、教師になった際には必ず受け持つため、今この時期に学習しておくことは現行の学習指導要領と新学習指導要領とを確認しながらのものとなるため、移行の意図を確認しながら学習を進めることができたことも理由の1つである。

④今までは総合的な学習についてそこまで重要だとは思っていなかったけど、この講義を受けて重要だと感じる事ができたから。

⑤幼稚園から高校にわたる総合的な学習の例を通して、今まで学んできたことにどんな意味があったか、またその学習についての意図を考えることができたから。

3. 総括

地域の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の先生方と協力し、愛媛で教員になるモチベーションをさらに高める取り組みができた。学生の評価の理由から読み取ることができる。